

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月18日			記入者	連絡先 756-0290
部 名	教育総務部	課 名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
事務事業名	郷土学習教材制作				
予算上の事務事業名	郷土学習教材作成委託				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			14123	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	調査・研究 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
子どもたちに映像をとおして、相模原市の様子を学習させ、郷土を知り、愛する心を培い、市民意識を育てるとともに、今日的課題などについて学習させることを目的に、小学校社会科学習を中心としたビデオ教材を制作する。			市内小学生・教員		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
相模原市立小学校教育研究会社会科部会、相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、指導課 (H18～学校教育課)、総合学習センターより計7名の制作委員を選出。子どもたちにわかりやすい教材となるよう、専門的立場から内容検討を行い、業者委託により教材作成を行っている。 制作委員会 8回 郷土学習教材作成委託 3,000千円 委員謝礼 (交通費込) @12千円×4名					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	3,012	3,012	3,012	2,922	2,922
一般財源	3,012	3,012	3,012	2,922	2,922
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	43	43	43	43	43
事業コスト合計	3,055	3,055	3,055	2,965	2,965
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	郷土学習教材制作			対象名称と単位	制作本数 (本)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	3,055	3,055	3,055	2,965	2,965
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	3,055,000	3,055,000	3,055,000	2,965,000	2,965,000
前年度比		1.00	1.00	0.97	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	制作本数（本）	指標式と指標の説明	年1本		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	活用校（%）	指標式と指標の説明	活用校/学校数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	55.0	55.0	55.0		
目標	55.0	55.0	55.0	65.0	74.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本市の歴史、地理等を後世に残す、価値のある映像である	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			将来的には、センターサーバーからのデジタル映像配信を可能にしていきたい		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効率的な事業の実施に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			